

# 梁川ホームだより

平成13年7月15日発行 第4号 (題字 佐藤理事長)

(発行責任者)

社会福祉法人信達福祉会 総合老人福祉施設梁川ホーム施設長 卍地 勝正  
福島県伊達郡梁川町字東土橋65-1 TEL 024 (577) 6111㈹ FAX 024 (577) 6115

## 事業内容

- 特別養護老人ホーム 梁川ホーム 定員80名
- 短期保護施設(ショートステイ) 定員20名
- デイサービスセンターⅠ型
- デイサービスセンターⅡ型
- 梁川町在宅介護支援センター
- ケアハウス広瀬 定員30名
- 居宅介護支援事業所

## 梁川ホーム運営理念

### 安全・安心・ゆとりの 梁川ホーム

1. 梁川ホームは、利用者の主体性と自主性を尊重し、人間としての尊厳に根ざした介護を進めます。
1. 梁川ホームは、家族・地域社会との連携を密にし、あたかかい家庭的環境を築きます。



この苦情解決委員会には、公平な立場で問題解決にあたつていただくため外部の方に第三者委員としてメンバーに入っています。各事業所にただいております。各事業所に

去る六月十四日、当梁川ホームに於いて、社会福祉法人 信達福祉会として苦情解決委員会を立ち上げました。昨年四月からの介護保険制度開始の流れにより、社会福祉法に基づく「苦情解決事業」が新たに設けられたのを機に、当信達福祉会では他の社会福祉法人に先がけて、苦情解決委員会を設置いたしました。

苦情解決委員会設置要綱の第七条に「苦情を受けた事業所は法人本部と協議し、選任した担当第三者委員に、苦情の内容等について報告するとともに、誠意をもって苦情の解決を図るものとする」と明記されています。このことを肝に銘じて、利用者や家族の方から苦情が出るのは信頼関係の証、それは、より良いサービスに転じる良い機会ととらえ、誠心誠意、問題解決に努めてまいります。

ともすれば、介護するものとされるものが上下関係になりがちな施設において、常に対等の立場であることをお互いに自覚し、開かれた施設を目指していきたいと思います。

家族の皆様、地域の皆様の忌憚のないご意見やご協力を願い致します。

## リスク・マネジメント (危機管理)とは

苦情解決委員会において、千葉和彦弁護士より「リスク・マネジメント」について講話がありました。

# 苦情解決委員会を設置

も担当者が置かれ、どんな苦情でも受け入れる態勢であります。

苦情解決委員会設置要綱の第七条に「苦情を受けた事業所は法人本部と協議し、選任した担当第三者委員に、苦情の内容等について報告するとともに、誠意をもって苦情の解決を図るものとする」と明記されています。このことを肝に銘じて、利用者や家族の方から苦情が出るのは信頼関係の証、それは、より良いサービスに転じる良い機会ととらえ、誠心誠意、問題解決に努めてまいります。

ともすれば、介護するものとされるものが上下関係になりがちな施設において、常に対等の立場であることをお互いに自覚し、開かれた施設を目指していきたいと思います。

家族の皆様、地域の皆様の忌憚のないご意見やご協力を願い致します。



介護保険運営協議会委員  
**佐藤 豊治**  
国見町大字山崎字一町田3-20  
☎ 585-2490



弁護士  
**千葉 和彦**  
福島市北五老内町1-3  
福島法曹ビル202号  
千葉法律事務所  
☎ 535-3690



**苦情  
解決委員会  
第三者委員**  
(敬称略)

「平成十二年度社会福祉法人信達福祉会決算報告」を添付しましたのでご覧下さい。



民生児童委員  
**渡辺 とくい**  
川俣町大字山木屋字広久保山21  
☎ 563-2272



人権擁護委員  
**氏家 康夫**  
川俣町大字鶴沢字遠西57-2  
☎ 566-3765



人権擁護委員  
**堀江 末子**  
梁川町字南本町43-6  
☎ 577-0961



民生児童委員  
**宍戸 昌子**  
梁川町大字舟生字寺下3  
☎ 577-1509



行政相談員  
**高橋 節子**  
桑折町大字万正寺字弁天水9-6  
☎ 582-2206

# 特集③「人間尊重の施設づくりに向けて」

—— 梁川ホーム運営理念具現化への第一歩 ——

介護の実践——身  
平成十二年五月二十八日、講演会  
「縛らない看護・



本使用、座位保持できない方に対する車椅子離床時の安全ベルトの使用等です。

※田中とも江氏の同講演会には  
今年六月九日に出席し、十月六  
日にも出席予定です。

ささらに今後、厚生労働省より  
示された「身体拘束ゼロへの手  
引き」と「身体拘束廃止ふくしま宣言」をもとに「身体拘束ゼ  
ロ」を推し進めていきます。

梁川ホームでは、平成九年開設当初より「身体拘束はしない」との考え方で介護にあたつてきました。折に触れ、ケース検討会、職員会議、職場研修等あらゆる機会をとらえ、話し合ってきました。

中とも江（上川病院総婦長）への出席、その後それをもとに、主任会議等で具体的に検討し、取り組んだ結果、昨年七月以降ほぼゼロに近い状態となりました。

## 「身体拘束ゼロ」への取組み

——高齢者的人権擁護とケアの向上を目指して——

◎記事に関しては第一面に記載しています。

## 苦情解決委員会の設置

## 平成12年度 事故報告書について

梁川ホームでは、事故の分析と未然防止のため、昨年度の四月より、すべての事故につき報告を求め、事故報告担当により、その受理及び分析を実施しました。

これは事故の大小にかかわらず、すり傷程度のものも、また、怪我の有無にかかわらず転倒・転落したこと、また、事故にはいたらなかつたものでも、今後事故に結びつくと予想されるものまで含み、事故報告の対象を広範囲にしたこともあります。

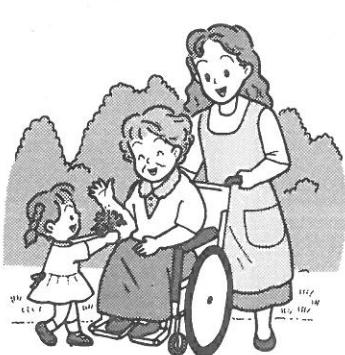
梁川ホームでの対応としては、五月十五日の全職員参加の職場研修会にて、「平成十二年度事故報告書」の統計分析資料をもとに、担当者からの報告と検討を行いましたが、今後はそれらをさらに、「リスクマネジメント検討会」でマニュアル化していく予定です。

## リスクマネジメント(危機管理)の取り組みについて

その結果については左記表のとおりですが、事故報告件数については、平成十二年度は年間二百六十件、月平均二十二件となり、かなりの件数になっています。

——地域に開かれた施設づくりを目指して——

## 『痴呆介護研修』 実習受入施設としての指定について



# 梁川ホーム

お田当ての品物はどこ（福島サテイにて）



やっぱり手作りはおいしいね



## 外食・ショッピングツアー



上手にできるかな？

### 梁川ホームの自慢

#### 名物おばあちゃん



おばあちゃんと言うにはまだまだお若いですが……。

「ムードメーカー」  
斎藤リキさん

毎日、元気いっぱいで人なつっこい笑顔を見てくれる斎藤リキさん。日常のレクリエーションはもとより、年間の諸行事等には欠かせない人物の一人です。

陽気な人柄で、歌を歌うのが大好きな彼女は、十八番の「佐渡おけさ」を始め「会津磐梯山」等、様々な歌を皆んなの前で披露、その場の雰囲気を盛り上げてくれるいわばムードメーカー。これからも元気でいろんな歌を聞かせて下さいね。

「歌を唱えれば楽しい気分になれるの」とリキさんより。

## 余暇活動あれこれ

～ユニットケア本施行から一年を迎えて～

あいにくの雨模様の中ではありますましたが、みんなが心待ちにしていたこともあり、予定通り桑折町の「花蝶」へ向けて出発、釜飯が主の店で、好みの具が載った釜飯を注文し、お腹いっぱい食べることが出ました。

食後は「福島サテイ」まで足を延ばし、トイレ休憩を兼ねショッピング。



アツアツの釜飯に舌鼓み（桑折町花蝶にて）

帰路に着きました。  
グ。おみやげいっぱい購入し、

### Bグループ

初めてのケーキ作り体験に始めは困惑氣味の入所者もありましたが、いざ作り始めると慣れないと、甘くおいしいケーキの味に喜びもひとしおでした。

今度は何をつくりましょうか？

### 職員（介護士）紹介

#### この春、新採用のニューフェイスです。



横江 博子  
小柄ですが体力根性は負けません。宜しくお願ひします。



佐藤 有希  
一生懸命がんばります。よろしくお願ひします。



阿部 浩子  
ガッツでがんばります。よろしくお願いします。



斎藤 宗貴  
足手まといにならないよう頑張りたいと思います。



阪内いづみ  
皆様とのコミュニケーションを大切に、頑張ります。



前庭にてチューリップの花見です

**デイサービスセンター**

介護保険が始まり  
一年が過ぎました。

ケアマネージャーの  
ケアプランのもと  
に、平成十二年度の  
当デイサービス利用  
者は、年間総定数八六一〇名に  
対して七一五一名の利用があり  
ました。

各利用者の考え方のもとに週  
一回利用から毎日利用の方まで  
といろいろです。今後は、なお  
一層利用者の希望にそつたより  
よいサービスができるよう、定  
数の壁はありませんが努力してい  
きたいと思つております。

春夏秋冬を通して、季節感を  
味わつて頂こうといろいろな行  
事を催しております。春はお花  
見、初夏は端午の節句  
でちまき作り、夏は納涼会、秋は芋煮会、年  
末は忘年会、お正月は初詣、旧正月を祝いも  
ちつきなど行つております。お楽しみレクリエー  
ーションでは、残存機能の維持を目的とし  
て、体を動かすゲームや頭を使って考えるゲ  
ーム、季節の風を肌で感じとる散歩。季節の  
花や野菜を植え、育成と収穫の体験を行なう  
す。それらを行なう事によりデイルームには  
笑いがたえません。

デイサービスに来所し、いろいろな場で、  
いろいろな楽しい思い出を一ページ、二ページと心に刻んでい  
ただけたらと、職員一同頑張っ  
ています。

## デイサービスってどんなとこ?

— 利用状況 —



はて、はて、はてな?

ケアハウス  
思いのままに生きて  
広瀬

ジュースよなんて言っちゃって  
(ホントはお酒よ?) 開所記念日に

**ケアハウス広瀬**

ケアハウス広瀬に入居されている方々は、皆さん、戦争という時代をくぐり抜けてこられた方ばかりです。ときどき伺

うお話の中には、今の時代には考えられない、想像を絶するようなことばかり、文才があるのなら本にして、後世に伝えたいと思いながらお話を聞いています。本当に、激動の昭和を生き残った食事を捨ててしまうことに、「もつたいない、もつたいない」のことば。つづましや

や、大正デモクラシーを経験して、感謝のメッセージを送らせていただきます。そんな皆さんにエールを送ります。

自分の人生、思いつき好きなことをして、陽気に生きていって下さい。私達は、出来るかぎり支えさせていただきます。



ケアハウスの美女紹介(今年の花見)



芸術作品を制作中! 心はいつも世界に羽ばたく陶芸家

や、大正デモクラシーを経験して、感謝のメッセージを送らせていただきます。そんな皆さんにエールを送ります。

アハウス広瀬で同じ時代を、一緒に暮らしてみませんか。

そして、ケ





**フレッシュユマン**

紹介

今年の四月から新しく、デイサービス職員となりました大森由希子です。職員としてはまだ半人前以下ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。一緒に楽しむ思い出を作つていきましょう。

今年の四月から新しく、デイサービス職員となりました大森由希子です。職員としてはまだ半人前以下ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。一緒に楽しむ思い出を作つていきましょう。

今年の四月から新しく、デイサービス職員となりました大森由希子です。職員としてはまだ半人前以下ですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。一緒に楽しむ思い出を作つていきましょう。

小さな土地での花と野菜の育成と、週一回の孫との出会いを楽しみに穏やかな生活を満喫していたある日、突然の病に見舞われました。療養の結果、なんとか歩行が出来る

結果、なんとか歩行が出来る

の人達で、裸のつきあいを通して、会話もはずみ、数々の成果があり、喜んでいます。バランスのとれた食事や、昼寝のあと、「レク」、年齢を忘れ、トンチンカンの動作に笑い顔

のあと、「レク」、年齢を忘れ、トンチンカンの動作に笑い顔

## デイサービスセンターを利用して

園部祐藏

ようになつたころ、デイサービスの利用を勧められ、家にこもるより、外に出てみるのも良いかと、不安と期待を胸に、はや「二百回」以上の利用になりました。仲間は町内

がたえません。なごやかなうちに心地よい汗をかき乍ら頂くお茶は格別おいしいものです。毎週の利用日が待ち遠しいです。

介護保険の施行から、一年が経過しました。毎日のように新聞やテレビで報道されており、「介護保険」や「介護支援専門員（ケアマネージャー）」等の言葉も定着してきたようです。

しかし、介護保険は複雑でよくわからない、サービスを受け

くわからぬ、サービスを受け

る方法がわからないという声もあり、内容を知らないために利用できずにいた方も多いのではないかでしょうか。

介護保険では、在宅サービスと施設サービスとに大きく分かれます。そのうち在宅サービスの利用について相談、調整をするのが、居宅支援事業所の介護支援専門員（ケアマネージャー）です。お申し込みを頂いてから、ご本人やご家族との話し合いのものとに、サービス計画（ケアプラン）を作成し、実際にサービスを提供する事業所との橋渡しをしています。

施設から一年、制度が未完成のまま走り出したため、利用者の方々も様々な不満を持たれることでしょし、私達職員も制度が修正される度に振り回されました。介護保険は全てを補つてくれるものではありませんが、皆様の声を受け止め、共に考え、学んでいきたいと思います。

よりよい制度に  
していくために

## 梁川町在宅介護支援センター 梁川ホーム指定居宅介護支援事業所

定されており、申請までスムーズに進めるためには、まず介護支援専門員と相談されることをお勧めいたします。

また、サービス利用の大前提として要介護認定を受けなければなりませんでした。手続き方





平成 12 年度 決 算

信連福祉会

貸 借 対 照 表

(平成 13 年 3 月 31 日現在 事業所別内訳)

(単位 円)

大 区 分		内 訳						
		合 計	本 部	あつかし荘	梁川ホーム	ケアハウス	梁川町在介	施設整備(横木-ム)
資産の部	1. 流動資産	1,577,809,823	741,694,272	64,829,318	113,031,065	3,964,184	969,347	653,321,637
	2. 固定資産	3,960,273,783	1,000,000	304,231,832	1,669,483,748	585,613,959	33,704,257	1,366,239,987
資産の部合計		5,538,083,606	742,694,272	369,061,150	1,782,514,813	589,578,143	34,673,604	2,019,561,624
負債の部	1. 流動負債	1,424,599,561	730,227,479	10,081,376	26,754,803	3,464,432	969,347	653,102,124
	2. 固定負債	1,774,501,795	-	14,318,937	875,415,872	311,733,798	18,033,188	555,000,000
負債の部合計		3,199,101,356	730,227,479	24,400,313	902,170,675	315,198,230	19,002,535	1,208,102,124
純資産の部	1. 国庫補助金等特別積立金	2,005,058,465	1,000,000	194,565,601	729,866,535	254,123,149	14,263,193	811,239,987
	2. その他の積立金	200,924,141	-	122,642,830	58,750,015	19,531,296	-	-
	3. 次期繰越活動収支差額	132,999,644	11,466,793	27,452,406	91,727,588	725,468	1,407,876	219,513
純資産の部合計		2,338,982,250	12,466,793	344,660,837	880,344,138	274,379,913	15,671,069	811,459,500
負債及び純資産の部合計		5,538,083,606	742,694,272	369,061,150	1,782,514,813	589,578,143	34,673,604	2,019,561,624
脚注	1. 減価償却の累計額	633,039,917	-	231,484,050	302,851,314	93,010,233	5,694,320	-
	2. 移行時特別積立金の積立不足額	42,697,080	-	42,697,080	-	-	-	-
	3. 指導指針に基づいて作成している							-

信連福祉会

収 支 算 翁

(事業所別内訳)

(単位 円)

区 分		内 訳						
( 大 区 分 )		合 計	本 部	あつかし荘	梁川ホーム	ケアハウス	梁川町在介	施設整備(横木-ム)
I 経常活動	1. 介護福祉施設介護料収入	528,779,066	-	206,998,404	321,780,662	-	-	-
	2. 居宅介護料収入	119,522,762	-	7,414,290	112,108,472	-	-	-
	3. 居宅介護支援介護料収入	14,170,900	-	-	14,170,900	-	-	-
	4. 利用者等利用料収入	36,109,209	-	573,000	6,910,555	28,625,654	-	-
	5. その他の事業収入	22,706,720	-	272,654	2,383,066	13,507,000	6,544,000	-
	6. 借入金利息補助金収入	43,741,504	6,222,495	-	27,162,430	9,800,297	556,282	-
	7. 受取利息配当金収入	250,115	57,033	110,741	56,143	18,302	774	7,122
	8. 寄附金収入	124,505	-	-	124,505	-	-	-
	9. 雑収入	3,698,425	21,750	1,228,424	2,448,251	-	-	-
	経常活動収入計(1)	769,103,206	6,301,278	216,597,513	487,144,984	51,951,253	7,101,056	7,122
	1. 人件費支出	393,722,345	300,000	133,437,605	236,962,090	10,435,881	4,386,837	8,199,932
	2. 経費支出	302,596,396	7,184,304	60,802,432	157,172,432	36,778,708	2,261,521	38,396,999
	経常活動支出計(2)	696,318,741	7,484,304	194,240,037	394,134,522	47,214,589	6,648,358	46,596,931
II 施設整備等 ・財務活動	経常活動収支差額(3)=(1)-(2)	72,784,465	△ 1,183,026	22,357,476	93,010,462	4,736,664	452,698	△ 46,589,809
	1. 施設整備等補助金収入	1,424,725,610	699,370,610	-	1,650,000	25,612,000	1,454,000	696,639,000
	2. 施設資金借入金収入	771,000,000	435,500,000	-	-	-	-	335,500,000
	施設整備等収入計(4)	2,195,725,610	1,134,870,610	-	1,650,000	25,612,000	1,454,000	1,032,139,000
	1. 固定資産取得支出	1,028,823,667	-	1,055,250	2,025,450	-	308,000	1,025,434,967
	設備整備等支出計(5)	1,028,823,667	-	1,055,250	2,025,450	-	308,000	1,025,434,967
	設備整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	1,166,901,943	1,134,870,610	△ 1,055,250	△ 375,450	25,612,000	1,146,000	6,704,033
	1. 他会計区分繰入金収入	12,000,000	12,000,000	-	-	-	-	-
	2. 貸借資金借入金元金償還補助金収入	70,984,000	-	-	70,984,000	-	-	-
	3. 積立預金取崩収入(移行時)	44,297,080	-	42,697,080	-	1,600,000	-	-
	4. その他の収入	2,570,696	-	2,378,881	191,815	-	-	-
	財務活動等収入計(7)	129,851,776	12,000,000	45,075,961	71,175,815	1,600,000	-	-
	1. 会計区分外繰入金支出	1,044,139,000	1,032,139,000	12,000,000	-	-	-	-
	2. 設備資金借入金元金償還支出	198,050,000	100,000,000	-	70,984,000	25,612,000	1,454,000	-
財務活動等支出計(8)	3. 積立預金支出	5,400,000	-	-	-	5,400,000	-	-
	4. その他の支出	7,252,836	2,731,610	834,440	3,303,004	162,056	145,030	76,696
	財務活動等支出計(9)	1,254,841,836	1,134,870,610	12,834,440	74,287,004	31,174,056	1,599,030	76,696
	財務活動等資金収支差額(10)=(7)-(8)	△ 1,124,990,060	△ 1,122,870,610	32,241,521	△ 3,111,189	△ 29,574,056	△ 1,599,030	△ 76,696
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	114,696,348	10,816,974	53,543,747	89,523,823	774,608	△ 332	△ 39,962,472
	前期未支払資金残高(12)	38,513,914	649,819	1,204,195	△ 3,247,561	△ 274,856	332	40,181,985
	当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)	153,210,262	11,466,793	54,747,942	86,276,262	499,752	-	219,513

信濃福祉会

## 事業活動収支計算書

(事業所別内訳)

(平成12年4月1日~平成13年3月31日現在)

(単位 円)

区分 (大区分)	内訳						
	合計	本部	あつかし荘	梁川ホーム	ケアハウス	梁川町在介	施設整備(川原ホーム)
III 事業活動	1.介護福祉施設介護料収入	528,779,066	-	206,998,404	321,780,662	-	-
	2.居宅介護料収入	119,522,762	-	7,414,290	112,108,472	-	-
	3.居宅介護支援介護料収入	14,170,900	-	-	14,170,900	-	-
	4.利用者等利用料収入	36,109,209	-	573,000	6,910,555	28,625,654	-
	5.その他の事業収入	22,706,720	-	272,654	2,383,066	13,507,000	6,544,000
	6.国庫補助金等特別積立金取崩額	111,499,191	-	11,727,493	75,210,845	23,258,673	1,302,180
	事業活動収入計(14)	832,787,848	-	226,985,841	532,564,500	65,391,327	7,846,180
	1.人件費支出	393,722,345	300,000	133,437,605	236,962,090	10,435,881	4,386,837
	2.経費支出	258,346,073	961,808	60,802,432	129,501,184	26,978,411	1,705,239
	3.減価償却費	120,307,608	-	18,177,004	77,280,291	23,307,813	1,542,600
	4.引当金繰入	4,444,530	-	834,440	3,303,004	162,056	145,030
	事業活動支出計(15)	776,820,556	1,261,808	213,251,481	447,046,569	60,884,161	7,779,606
	事業活動収支差額(16)=(14)-(15)	55,967,292	△ 1,261,808	13,734,360	85,517,931	4,507,166	66,574
IV 事業活動外 ・特別差額	1.借入金利息補助金収入	43,741,504	6,222,495	-	27,162,430	9,800,297	556,282
	2.受取利息配当金収入	250,115	57,033	110,741	56,143	18,302	774
	3.寄付金収入	124,505	-	-	124,505	-	-
	4.雑収入	3,698,425	21,750	1,228,424	2,448,251	-	-
	事業活動外収入(17)	47,814,549	6,301,278	1,339,165	29,791,329	9,818,599	557,056
	1.借入金利息	44,250,323	6,222,496	-	27,671,248	9,800,297	556,282
	事業活動外支出計(18)	44,250,323	6,222,496	-	27,671,248	9,800,297	556,282
	事業活動外収支差額(19)=(17)-(18)	3,564,226	78,782	1,339,165	2,120,081	18,302	774
	経常収支差額(20)=(16)+(19)	59,531,518	△ 1,183,026	15,073,525	87,638,012	4,525,468	67,348
	1.施設整備等補助金収入	1,495,709,610	699,370,610	-	72,634,000	25,612,000	1,454,000
	2.固定資産受贈額	5,413,405	-	-	5,013,405	-	400,000
	3.他会計区分繰入金収入	12,000,000	12,000,000	-	-	-	-
	4.その他の特別収入	438,070,696	435,500,000	2,378,881	191,815	-	-
	特別収入計(21)	1,951,193,711	1,146,870,610	2,378,881	77,839,220	25,612,000	1,454,000
	1.国庫補助金等特別積立金組入額	789,739,502	-	-	72,338,535	25,612,000	1,454,000
	2.固定資産除売却損	1,447,426	-	-	1,447,426	-	-
	3.会計区分外繰入金支出	1,044,139,000	1,032,139,000	12,000,000	-	-	-
	4.その他の特別支出	102,808,306	102,731,610	-	-	-	76,696
	特別支出計(22)	1,938,134,234	1,134,870,610	12,000,000	73,785,961	25,612,000	1,454,000
	特別収支差額(23)=(21)-(22)	13,059,477	12,000,000	△ 9,621,119	4,053,259	-	6,627,337
	当期活動収支差額(24)=(20)+(23)	72,590,995	10,816,974	5,452,406	91,691,271	4,525,468	67,348
	前期繰越活動収支差額(25)	64,208,649	649,819	22,000,000	36,317	-	1,340,528
	当期末繰越活動収支差額(26)=(24)+(25)	136,799,644	11,466,793	27,452,406	91,727,588	4,525,468	1,407,876
	その他の積立金取崩額(29)	1,600,000	-	-	-	1,600,000	-
	その他の積立金繰入額(30)	5,400,000	-	-	-	5,400,000	-
	次期繰越活動収支差額(31)=(26)+(29)-(30)	132,999,644	11,466,793	27,452,406	91,727,588	725,468	1,407,876
							219,513